

「こどもまんなか」の学びを進めています

4月号の学校だよりでお伝えしたように、本校は北海道教育委員会の指定を受け、「こどもまんなか」の理念に基づいた学びづくりに取り組んでいます。今年度は全学年の国語・英語を中心に、学びファシリテーターの児玉教諭が授業づくりに参画し、子どもたちの声や意見を生かした授業を進めています。

先日、全学年で「子どもの権利条約」や「こども基本法」について学び、子どもの意見や守られるべき権利について考えました。1・2年生は「子どもの意見と守られるべき大切な権利」、3年生は「みんなでつくろう、学校の新しいルール」をテーマに話し合い、自分だけでなく周りの人の権利も大切にすることの重要性を学びました。

今回の学習を通して、互いの考えや違いを認め合い、相手を尊重しながら、よりよい学校生活をみんなでつくっていかうとする意識を高める機会となりました。

授業中、子どもたちはタブレットに自分の意見を入力。すぐに画面で共有しながら授業を進めた「こどもの権利条約」に関する授業



「授業の内容や進め方などについて、自分の意見を聞いてもらうことができていると思う」 **91%**
7月6日実施「こどもまんなか」学び創出事業アンケートより

7月9日（木）全道こども「学び」フォーラムでは、本校と同様に北海道教育委員会から指定を受けている学校の児童生徒が「楽しい」「おもしろい」「もっと学びたい」と感じた授業や学びを共有しました。本校代表生徒2名は、「ゲーム形式で学んだり、仲間と意見を交流したりする授業が楽しい」「授業の振り返りをタブレットに入力すると、先生方がその内容を授業づくりに生かしてくれている」などと発表し、子どもたちの声が授業改善につながっていることを自分たちの言葉で伝えてくれました。

こどもたちが集う図書室へ ～図書室大改造始動～

東中学校図書専門委員会×余市町図書館

東中学校図書専門委員会×ブックフレンズ

東中学校図書専門委員会×東中学校 PTA サポーター

生徒が思わず足を運び、本との出会いを楽しめる図書室を目指して、先月末から図書室整備をスタートしました。今年度は PTA 活動の重点の一つとして位置付けていただき、PTA サポーターの皆様をはじめ、余市町図書館館長様・司書の皆様、図書館ボランティア「ブックフレンズ」の皆様のご協力のもと、整備を進めています。

現在、入口のシンボルツリーの設置や古い資料の整理、本の分類ラベルの貼り替えなどを行い、利用しやすい環境づくりを進めています。今後は、おすすめ本コーナーなども充実させ、生徒が自然と本に親しめる魅力ある図書室づくりを進めてまいります。

学校図書館（図書室）は、本を読む場所であると同時に、生徒が新しい世界や考え方に会い、自ら学びを広げていく大切な学びの場でもあります。多くの皆様のお力添えに感謝しながら、生徒の読書習慣の定着と豊かな学びにつながる魅力ある図書室づくりを進めてまいります。今後ともご協力お願いいたします。



たくさんの生徒が訪れた図書室。図書委員お手製のブラックボード看板がお出迎え



日本教育公務員弘済会北海道支部「学校図書助成事業」の助成を受け、見本の本を手に取りながら、図書室に入れてほしい本を選ぶ生徒たち。



「社会を明るくする運動」表彰式
式では中学生の部代表として笹森さんが作文を発表しました。

図書室整備を進める図書専門委員、PTA サポーター、余市町図書館の皆様、ブックフレンズの皆様